

ヤマノイモの種芋腐敗対策試験

JAあきた北・山の芋部会で昨年の12月から行われていた“ヤマノイモの種芋貯蔵時の腐敗対策試験”の検証が、4月上旬に管内の生産者宅で行われた。



集まった生産者。



VSあかきんを充填。



傷の部分でも腐敗は進行していない。

通常、ヤマノイモの種芋を貯蔵する際は、20kg入りのコンテナ(または段ボール箱)にビニール袋を敷き、並べた芋の隙間をオガクズやモミガラで埋めて貯蔵する。今回は代わりにVSあかきんを充填した場合の種芋の腐敗具合をみる試験を行った。

昨年12月、収穫した芋の中から高い確率で腐敗することが予想される傷のついた芋を選び、オガクズ・モミガラの代わりにVSあかきんを充填(2kgと4kg)して貯蔵した。尚、今回の試験では『腐るのは明白だから』という理由で、比較のためのVSあかきん無施用コンテナは用意されなかった。

傷のついた芋ばかりを集めて行った今回の試験であるが、4ヶ月を経て開封された2kg・4kgいずれのコンテナにも種芋の腐敗は見られず、参加者は皆一様に驚いた様子だった。たったひとつの芋の腐敗が周囲の芋にまで腐敗を広げるという事を考えれば、VSあかきんの利用価値は高い。

また、VSあかきんはイモ類に限らず花卉球根類の腐敗対策にも利用されている。